



荒尾市公営企業 水道事業会計 病院事業会計

水道事業会計

主な建設改良工事 単位:万円

県道荒尾長洲線配水管強化その他1件工事	994
八幡台1丁目配水管更新工事	1,416
焼石団地配水管更新工事	1,714

主な実績 単位:立方メートル

1日最大配水量	16,625
1日平均配水量	15,480
1日平均有収水量	14,061

業務の状況

契約給水戸数・給水人口 単位:戸・人

区分	年度	21年度	22年度	23年度
給水戸数	21年度	20,380	20,589	20,699
	22年度	20,380	20,589	20,699
給水人口	21年度	48,953	49,825	49,056
	22年度	48,953	49,825	49,056

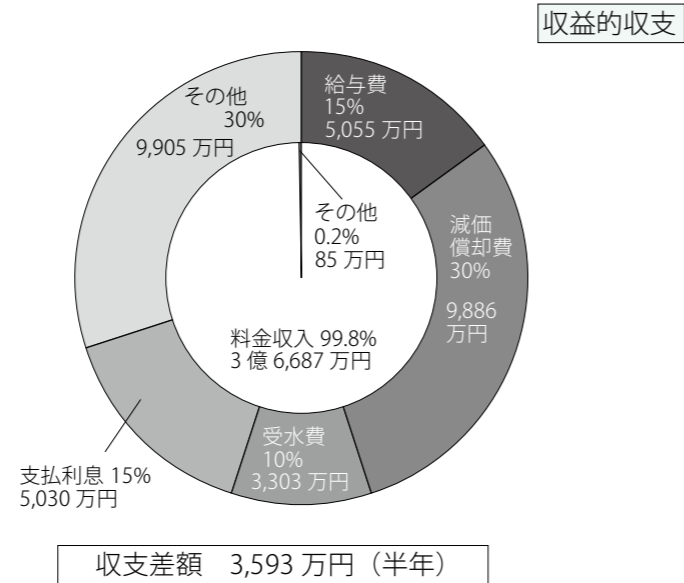
有収水量・配水量 単位:万立方メートル

区分	年度	21年度	22年度	23年度
有収水量	21年度	144	142	141
	22年度	144	142	141
配水量	21年度	157	157	155
	22年度	157	157	155

有収水量…家庭や事業所に取り付けられている水道メーターで量った実際に使用された水の量です
配水量…配水池から市内へ送り出された水の量です

資本的収支

収入		267万円
企業債		0円
工事負担金		267万円
国庫補助金		0円
支出		1億1,247万円
建設改良費		2,663万円
企業債償還金		8,584万円
収支差額		△1億0,980万円



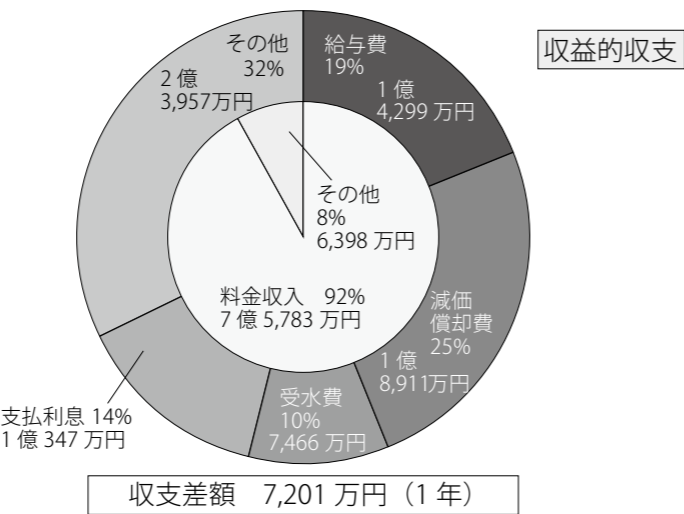
22年度決算の概要

22年度決算では、大口使用者の使用量の減少や節水意識の浸透などにより、使用水量が前年度に比べ6万立方メートル減少し、給水収益に影響しています。しかし、退職者の減少や業務見直しをはじめとする経費削減の取り組みを積極的に実施した結果、前年度に比べ利益が3,308万円増加しました。なお、22年度においても地方公共団体財政健全化法による資金不足は生じていません。

今後、老朽管の更新事業などで投資が膨らんでいきますが、23年度から水道料金等業務を民間事業者の㈱タカダに委託し、経費削減や経営の効率化、サービスの向上に努めていきます。

資本的収支

収入		10億8,209万円
企業債		7億80万円
工事負担金		8,530万円
他会計負担金		363万円
補助金等		2億9,236万円
支出		13億9,819万円
建設改良費		11億1,508万円
企業債償還金		2億8,311万円
収支差額		△3億1,610万円



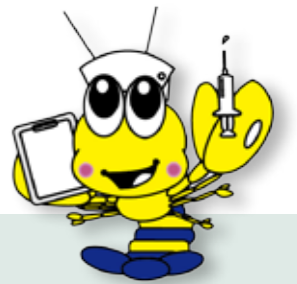
貸借対照表

固定資産	113億8,872万円	負債	2億4,772万円
		固定負債	6,582万円
		流動負債	1億8,190万円
流動資産	6億4,766万円	資本	117億8,866万円
		資本金	71億5,199万円
		自己資本金	24億8,802万円
		借入資本金	46億6,397万円
		剰余金	46億3,667万円
資産合計	120億3,638万円	負債・資本合計	120億3,638万円

平成23年度上半期業務状況 平成23年4月1日～9月30日

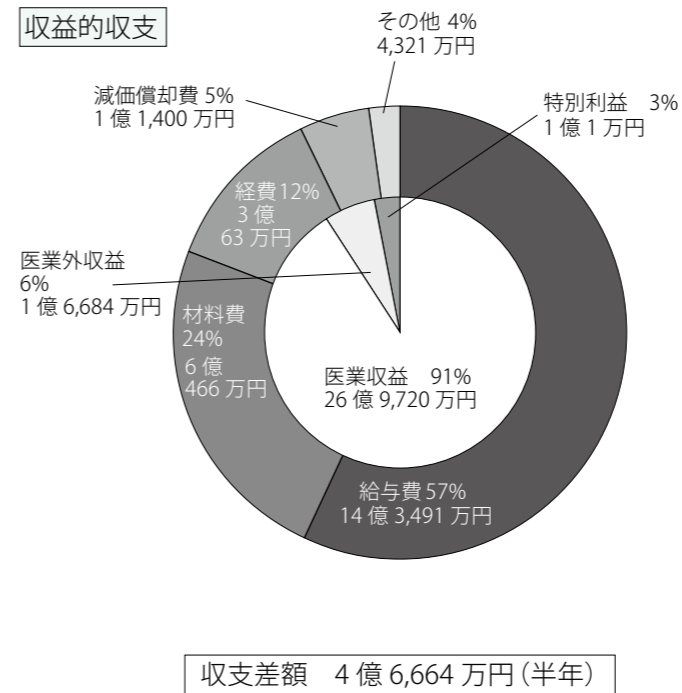
平成22年度決算 平成22年4月1日～平成23年3月31日

財政状況を公表します

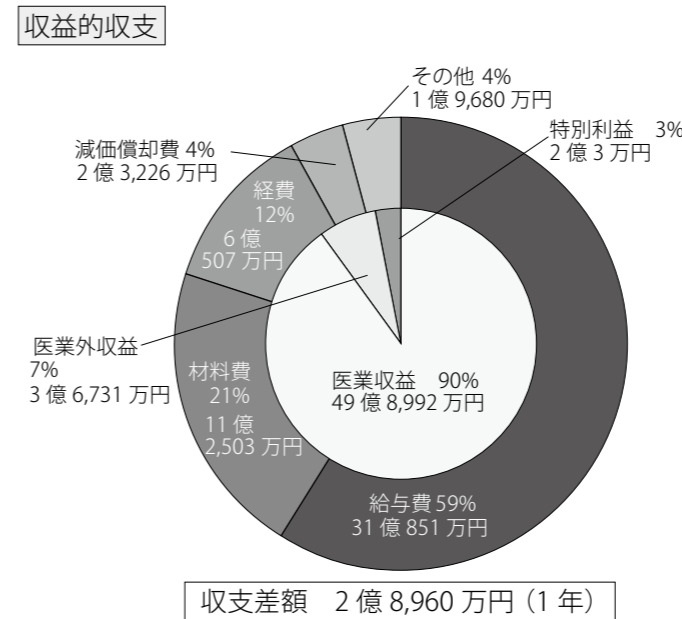


病院事業会計

平成23年度上半期業務状況 平成23年4月1日～9月30日



平成22年度決算 平成22年4月1日～平成23年3月31日



貸借対照表

固定資産	23億2,172万円	負債	36億400万円
		固定負債	15億9,483万円
		流動負債	20億917万円
流動資産	15億1,010万円	資本	2億2,782万円
		資本金	36億1,568万円
		剰余金	△33億8,786万円
資産合計	38億3,182万円	負債・資本合計	38億3,182万円

●業務の状況

単位:人・%

区分	年度	21年度	22年度	23年度
入院	延患者数	37,264	40,099	40,808
	1日平均患者数	204	219	223
	病床利用率	74.4	80.0	83.3
	平均在院日数	17.3	17.8	17.2
外来	延患者数	44,552	43,321	44,236
	1日平均患者数	364	349	357

資本的収支

収入		5,000万円
企業債		0円
他会計出資金		5,000万円
支出		2億7,627万円
建設改良費		3,039万円
企業債償還金		2億3,798万円
医学生奨学金貸付金		700万円
看護学生奨学金貸付金		90万円
収支差額		△2億2,627万円

22年度決算の概要

市民病院では、前年度に続き、「中期経営計画」に基づき経営改善を進めてきました。

具体的には次のような改善に取り組みました。

- 医師確保 (脳神経外科+1人、小児科+1人)
- 看護師確保 (+7人) 診療技術技師確保 (+10人)
- 医学生・看護学生奨学金制度の開始 (医学生5人、看護学生4人)
- 院内保育所開設 (平成22年4月)

病院事業の収益的収支は、単年度収支で2億8,960万円の純利益を得ました。前年度に続き黒字決算となっています。平成24年4月にがん放射線治療装置「リニアック」を稼働開始する予定です。今後も、急性期医療を中心とした安心、安全な医療を提供し、地域医療の確立につながる経営の安定化を図っていきます。

資本的収支

収入		6億6,572万円
企業債		5億5,220万円
補助金		432万円
他会計出資金		1億920万円
支出		11億18万円
建設改良費		1億2,627万円
企業債償還金		9億6,211万円
医学生奨学金貸付金		940万円
看護学生奨学金貸付金		240万円
収支差額		△4億3,446万円